

「令和7年度英語圏向け SNS アカウント運用・情報発信業務」

企画コンペティション仕様書

令和7年2月

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

## 1. 件名

「令和7年度英語圏向け SNS アカウント運用・情報発信業務」（以下「本業務」という。）とする。

## 2. 目的

沖縄県および一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下「OCVB」という。）では、海外のターゲット市場において、誘客のため各種プロモーションに取り組んでいる。本業務では、英語圏（オーストラリア、イギリス、シンガポール）における外国人向けの沖縄観光情報を充実させ、沖縄観光の認知度及び好意度向上を図ることを目的に、各種 SNS 運営アカウント（以下、「管理アカウント」という）を活用して情報発信を行う。

## 3. 管理アカウント（言語）

Instagram（英）：<https://www.instagram.com/visitokinawajapan/>

Facebook（英）：<https://www.facebook.com/visitokinawajapan>

## 4. 契約期間

契約期間：契約締結日 ～ 令和8年3月31日（火）

なお、本公募は沖縄県が OCVB へ委託する「令和7年度沖縄観光グローバル事業」の契約を前提として、本業務の内定事業者を選定する事前準備手続きであり、契約成立後に効力を生じる業務である。したがって沖縄県と OCVB 間にて「令和7年度沖縄観光グローバル事業」が契約締結されなかった場合は、本公募による内定事業者の選定は無効とする。

## 5. 金額

委託費：11,000,000 円（消費税及び地方消費税を含む）

## 6. 実施体制

- (1) 正副2名以上の担当者を割り当て、担当者それぞれの具体的な業務内容を明確にし、本業務に係る統制及びその他事務について十分な遂行体制をとること。
- (2) 協力会社含め、実施体制の管理を徹底して行うこと。
- (3) 原稿作成・翻訳・プルーフリーディングを行う際には、対象言語のネイティブ、またはそれと同等の語学力がある者が行うこと。加えて、沖縄独自の文化や言葉、沖縄の地理的特性、歴史的背景、文化風習など、一程度の造詣を有する者が監修すること。
- (4) トラブル発生時には、OCVB に速やかに報告・相談できる体制を必ず取ること。
- (5) 台風、地震、津波などの災害をはじめ、その他非常事態が発生した場合、OCVB の指示に従い迅速な対応を行うこと。
- (6) その他、本業務実施にあたり必要とされる作業が発生した場合、OCVB と受託者の双方が協議の上、対応を決定する。

## 7. 運用方針

### (1) 概要

訪沖未関心層へのアプローチ、各市町村や県内事業者との連携を強化する。

フィード投稿を通じてファン醸成（沖縄旅行に対する興味関心の拡大、好意度向上）を図ることを基本的な運用スキームとし、定められたトナリ及びテーマに沿って運用をする。

ターゲット

SNS	国	年齢・性別	嗜好	その他
IG・FB 共通	イギリス	35~59 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学び系コンテンツ（歴史文化、食、エコツーリズム）</li> <li>●アウトドア（ハイキング、バードウォッチング等）</li> <li>●ウェルネス</li> </ul>	夫婦・カップル層・一人旅、日本認知は高いが沖縄認知は低い
	オーストラリア	20~39 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アウトドア（マリンスポーツ、ハイキング、トレッキング等）</li> <li>●エコツーリズム</li> </ul>	ミレニウム世代、主要都市在住者、沖縄認知は若干
		40~59 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学び系コンテンツ（歴史文化、食、エコツーリズム）</li> <li>●ウェルネス</li> </ul>	家族・夫婦・カップル層主要都市在住者、沖縄認知は若干ある
	シンガポール	25~40 歳 女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宿泊施設（リゾート）</li> <li>●自然アクティビティ（SUP、カヤック、ダイビング等）</li> <li>●文化体験</li> <li>●健康・食（古酒含む）</li> </ul>	訪日層（富裕層リピーター）、訪沖層（中間層 LCC 利用者）

### (2) 成果指標

<KGI>

沖縄旅行に対する興味・関心の拡大、好意度の向上。

⇒ビーチリゾートとしての沖縄だけではなく地域、人、文化、自然（世界遺産）、SDGs 等を通して沖縄の魅力や取り組みを発信、KGI 達成を目指す。

<KPI>

Instagram・Facebook 共通

- ・目標とするエンゲージメント率の維持または向上

※エンゲージメント数は meta 社が定義する「いいね、コメント、シェア、保存」とする

- ・イギリス、オーストラリア、シンガポールのフォロワー数増

※広告による一時的な増加は対象外とする

### (3) 活用ツール

業務遂行にあたり、以下ツールを活用すること

- ① 進捗・記事管理：Microsoft Teams 内アプリケーション

※Microsoft Teams には OCVB がゲスト招待する

### (4) 参考資料

業務の中で疑義等が生じた場合は以下資料を参考とすること。なお資料に記載のない事項については、OCVB の指示を仰ぎ対処にあたること。

- ① 運用マニュアル
- ② 素材選定ポリシー
- ③ コメント想定問答集
- ④ 沖縄県における多言語観光案内サイン翻訳ルールについて

URL：[https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/tagengo/tagengo\\_rule\\_2017.html](https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/tagengo/tagengo_rule_2017.html)

- ⑤ 精算に関するチェックリストと注意事項について

## 8. 委託内容

### (1) 全体共通

- ① 市場動向リサーチ・分析

➤ 各ターゲット市場の海外旅行動向やトレンド、ハッシュタグ、嗜好等について常に情報収集・分析を行うこと。

- ② 素材手配

➤ 原則として、画像・動画素材問わず、受託側が新規撮影・提供元との交渉も含めて収集・調整すること。

➤ 既定のトンマナに合わせた素材手配を行うこと。※添付資料参照

➤ 画像数は SNS 媒体、ターゲットに合った効果的な枚数を掲載すること。

- ③ 記事作成（翻訳含む）

➤ 媒体、フォロワー属性に適切な記事をそれぞれ作成すること。

➤ 施設や店舗等を紹介する際は、事前に先方許諾を得ること。

➤ 原稿案作成は原則日本語にて行うこと。なお、対象言語から直接作成することも可とするが、その場合は必ず日本語訳もあわせて提出すること。

➤ 原稿作成・翻訳を行う際は、対象市場及び各種 SNS 特性に適した表現・表記を心掛けること。

➤ 施設・エリアに関する投稿は、位置情報（各媒体の位置情報機能を活用）や施設のアカウントを記載すること。

- ④ 確認スケジュール

➤ OCVB への素材・記事最終確認は、投稿 1 週間前までに行うこと。

- ⑤ コメント対応

➤ 投稿についてのコメント及び、DM で送られてきたコメントを監視し、3 営業日以内に対応を終えること。

コメント内容が「ネガティブ」、「ニュートラル（ポジティブ・ネガティブでないもの）」、「質問」であった場合は、『コメント想定問答集』を確認の上、OCVB に返

信案提示・承諾を得た上で対処すること。

※返信案提示に際しては、Microsoft Teams 内アプリケーションを活用

➤ OCVB 作成記事のコメント対応も同様に行うこと。

⑥ 広告配信

➤ 市場動向・トレンド等を踏まえ、KGI・KPI 達成に適した戦略的な頻度、クリエイティブ、広告種類等を提案し、OCVB と協議の上決定・実施すること。

➤ 広告配信後はその効果を都度確認・管理し、結果に応じて改善策を考案すること。

⑦ 報告会・施策会議

➤ 毎月 15 日までに報告書を作成し前月の実施内容の結果報告、及び次月の投稿・運用方針を議論・決定する場合（施策会議）を設けること。

※各種資料内容は下記参考にし、事業開始前に OCVB と協議した上で決定する。

【報告書】

- ・ KGI/KPI 達成度
- ・ 各種インサイトデータ：  
フォロワー数、フォロワー上位国（地域別）Top10、ユーザー属性、リーチ数、いいね数、シェア数、保存数、インプレッション数、コメント数、エンゲージメント率などに加え、コメント等に基づく定性的な分析
- ・ 広告配信に係るデータ
- ・ 当月課題

【施策会議資料】

- ・ 課題の改善策
- ・ 対象市場の海外動向、観光受入状況
- ・ 他国・他都市の観光セクターによる発信動向や最新トレンド
- ・ 次月投稿テーマ、広告配信に関する提案
- ・ その他新しい取り組みの提案

※議事録の提出は同月の月末までに提出すること

⑧ 公式マーク（認証バッジ）取得

公式マーク取得に係る確認調整、手続き、及びサポート業務をすること。

⑨ 翻訳業務

OCVB 側が作成した記事の翻訳業務をおこなうこと。月 1～2 本前後

(2) Instagram 運用・情報発信

① 通常投稿

➤ 投稿頻度：【 フィード 】月 6 本 ※1 本以上のリール動画を含む。

※うち 4 本は受託者取材記事とし、その他は UGC 等を活用効果的な投稿日を OCVB と協議の上決定

【ストーリーズ】月 2 回程度 ※NEW POST 投稿は含まない

➤ 文字数 : 50～200 文字程度（日本語）

① UGC 手配

- ユーザー生成コンテンツ（UGC）の活用も行うこと。なお UGC 選定・交渉は以下  
点に留意して実施すること。
  - 沖縄観光認知拡大に資する内容・コンテンツであること。
  - 外国人目線を意識したコンテンツであること。
  - 公益性の高い当アカウントに相応しいコンテンツであること。
  - 県・OCVB が運用する SNS 及びサイトへ素材を転載する可能性も含め許諾を必  
ず取ること。

(3) Facebook 運用・情報発信

② 通常投稿

- 投稿頻度：【フィード投稿】月 6 本  
効果的な投稿日を OCVB と協議の上決定
- 文字数 ：100～400 文字程度（日本語）

## 9. 成果物

(1) 「8. (1) ⑦」の業務完了報告書

※紙媒体及びデータ（編集可能なデータと PDF の両方）各 1 部

(2) 業務に伴い作成した成果物（文章/翻訳テキスト/画像/動画/報告書等）データ 1 式

※インデックスを作成し、**CD-R または DVD-R で納品**

※動画に関してはキャプションなしの成果物も含めること

## 10. 納品場所

OCVB 本社

## 11. 支払方法

1 回払いとし、OCVB の検査を経て、受託者からの請求に基づいて行う。

## 12. 権利の帰属等

- (1) 受託者が制作した成果物（当該成果物の中間生成物を含む。）及び委託業務完了報告書に係る著作権（著作権法第 27 条及び 28 条に定める権利を含む。）、著作隣接権等の一切の知的財産権はすべて納入時に OCVB に帰属する。また、OCVB が受託者に対し、OCVB に知的財産権が帰属するデータの譲渡を求めた場合には、受託者はこれに応じなければならず、当該データの譲渡の対価も含め知的財産権の移転に関する対価は委託料に含まれるものとする。
- (2) 前項にかかわらず、第三者が権利を有する著作物を利用する場合は、事前に OCVB の書面（電子メールを含む。以下、本条において同じ。）による承諾を得るものとし、受託者の費用と責任をもって OCVB が利用できるように処理するものとする。
- (3) 受託者は、第 1 項記載の成果物に関し、著作人格権を行使しないことに同意するものとし、再委託先にも同様の同意を表明し、保証させるものとする。
- (4) OCVB は受託者に対し、事前に OCVB の書面による承諾を得た場合を除き、本条の条件を満たさないデータの使用を認めないものとする。

### 13. 契約不適合責任

- (1) OCVB は、引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないもの（以下「契約不適合」という。）であるときは、受託者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができる。
- (2) 前項の場合において、受託者は、OCVB に不相当な負担を課するものでないときは、OCVB が請求した方法と異なる方法による履行の追完をすることができる。
- (3) 第 1 項の場合において、OCVB が相当の期間を定めて履行の追完の催告をし、その期間内に履行の追完がないときは、OCVB は、その不適合の程度に応じて代金の減額を請求することができる。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、催告をすることなく、直ちに代金の減額を請求することができる。
  - ① 履行の追完が不能であるとき。
  - ② 受託者が履行の追完を拒絶する意思を明確に表示したとき。
  - ③ 成果物の性質又は当事者の意思表示により、特定の日時又は一定の期間内に履行しなければ契約をした目的を達することができない場合において、受託者が履行の追完をしないでその時期を経過したとき。
  - ④ 前三号に掲げる場合のほか、OCVB がこの項の規定による催告をしても履行の追完を受ける見込みがないことが明らかであるとき。

### 14. 個人情報の取り扱いについて

本事業を通じてユーザー個人を識別できる情報を取得する際には、個人情報の漏えい、滅失、毀損の防止、その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じ、OCVB 側に提示することなく受託側が細心の注意を払って管理及び取り扱うこと。

### 15. その他注意事項

- (1) 本委託業務の遂行に当たっては、条例及び規則関係法令を遵守すること。
- (2) 本仕様書に記載の業務内容は、企画提案のために設定したものであり、実際の契約の仕様書とは異なる場合がある。
- (3) 本仕様書記載の業務内容については、実施段階において、予算や諸事情によって変更することがある。
- (4) 契約候補者として選定された場合においても、提案のあった企画の内容をすべて実施することを保証するものではない。